

消防団には、あなたの力が必要です！

私たちが消防団は、近年激甚化している風水害などの災害や火災に対し、最前線で活動しています。また、いざという時のための応急手当（救命活動）の手法を受講したり、指導員となって講習会を開催するなど、人や地域を守るための活動をしています。地域住民や職場から「頼られる消防団」となるよう、これからも日夜鍛錬を重ねていきます。消防団にはあなたの力が必要です。ぜひ私と一緒に活動し、安心・安全で住みよい鳥取市にしていきましょう！



消防団は、普段こんな活動をしています



水防訓練



地域防災フェスタ
(消火訓練)



鳥取工業高校での救命講習

あなたも消防団に入って活動しませんか？



消防団一覧表はこちら！

鳥取市に居住する18歳以上の人であれば、男女問わずどなたでも入団できます。入団を希望される場合は、地元の消防団または危機管理課へご連絡ください。



現役団員インタビュー

昨年8月、本市に甚大な被害をもたらした台風第7号。消防団はその最前線で活動されました。消防団に今年度から新規入団された上田純一さん（佐治第2分団所属）に、入団のきっかけや消防団活動の実体験などをインタビューしました！



入団のきっかけは？

私は十数年前にUターンして、地元の佐治町に帰り、農業を営んでいます。当時は消防団の存在を知りませんでした。帰ってきたことを知った地域の仲間から誘われて、消防団に入団しました。入団して活動する中で、自分の住んでいる地域をより知ることができました。また、災害時には地域を守るために行動することができ、やりがいにつながっています。

消防団活動（実体験）



台風第7号では、8月15日から雨が降り続き、地区団長から消防団のメンバーに招集がかりました。初日は、管内を消防ポンプ自動車で警戒・パトロールし、各所で土砂崩れが多発していることを確認、市へ随時報告し、佐治町総合支所へ引き返しました。市から緊急安全確保が発令されたこともあり、そのまま支所で一夜を明かしました。

2日目からは、被災現場の確認。パトロールに出動し、幹線道路を含め各所で道路崩落や土砂流入による通行不能箇所を確認しました。市へ現状を随時報告するとともに、現場の危険な箇所にはコーンを設置したり、交通誘導に当たったりしました。また、土砂や流木を人力で除去したり、被災者のもとに飲料水を徒歩で運搬・手渡ししたりしました。

この度の災害に際して思ったこと

農地が流され作物が被害を受けたことや、今後の見通しが立たないことが悲しいし悔しいです。しかし現状を悲観していても仕方がないので、地域の仲間と励ましながら復旧に努めようとしているところです。一方で、消防団の組織力や機動力に驚くとともに、地域の実情や地理・地形に詳しいことによる的確で迅速な活動には改めてやりがいを感じました。

これからも、消防団員として、地域住民として、自分にできる範囲で地域のことに関わっていきたいと思います。

